

## 令和7年度サポステ連携支援情報交換会 次第

---

日時：令和7年9月22日(月)13:30～15:00

場所：やまなし若者サポートステーション サポステルーム

(オンライン参加可能)

1. 開会 13:30 オンライン

2. あいさつ オンライン

やまなし若者サポートステーション総括コーディネーター 長谷川 和信

3. 内容

(1) アイスブレイク「サポステ利用者企画」 13:35

(2) サポステ利用者対談「利用者の声」 14:05 オンライン

(3) 他機関連携支援事例の発表 14:30 オンライン

(4) ブレイクタイム(休憩) 14:45

(5) 各機関との情報交換、連携支援方法の説明、質疑応答 14:50 オンライン

4. 閉会 15:00 オンライン

※ オンライン は、オンライン参加者対応の内容です。

※ 時間は目安です。

# サポステ支援事例① 企業連携

- 多業種の企業様にご協力頂き、月1回企業交流会を開催
- 企業見学/職場体験の受け入れをして頂いている

事例:<登録時23歳・現在26歳男性>

帰国子女のため、10代を国外で過ごし、18歳で帰国。

日本の高校に進学するも周囲と馴染めなかった。

サポステに来て「友人を増やしたい」「自立したい」と目標を掲げ、面談・グループワーク・集中訓練・職場体験・職場見学・交流会と積極的に参加。

その中で興味を抱いた警備会社で職場見学、職場体験を経て、アルバイトから入社し、現在は正社員として就労中。

## サポステ支援事例② ひきこもり

- 県・市町村ひきこもり窓口、社協、民間支援団体と連携して支援している
- 10代から40代まで全世代の方の相談があり、家族からの相談もある

事例：＜登録時35歳・現在38歳男性＞

小学校高学年から不登校。中学校もほとんど通えず。通信制高校に進学するも、半年足らずで中退。中退後、知人の紹介で測量助手の単発アルバイトを数回経験したのみ。それ以降、20年間無職。人と話すことが苦手で、人見知り。漠然とした焦りや「自立しなきゃ、働かなきゃ」という思いはあるものの、何から始めていいか分からなかった。サポステに通い、コミュニケーション練習を重ね、職業訓練に興味を抱くようになってからは、訓練受講の準備を行った。6カ月間ポリテクセンターの訓練に休みなく通い、電気工事士の資格を取り、自分の希望する企業に正社員として採用され、現在就労中。

## サポステ支援事例③ 学校連携

- 定時制高校・通信制高校の学生については、アルバイトをしたいという学生などを1年生から支援している
- 高校での出張講座や出張相談も実施
- 中途退学する高校生なども対応している

事例＜登録時17歳・現在20歳男性＞

県立高校を心身の不調によって中途退学し、通信制高校への転入も希望しなかったことから担任が心配し、サポステへ繋がった。当初は心身の不調が著しく、ゆるやかに来所を始め、スタッフと会話をするところから利用開始。徐々にグループワークに参加し、集中訓練・職場体験を経て、仲間も増えて、心身も安定した。今年度、通信制高校を再受験し、高校に通いながら、サポステ利用を続け、アルバイトを検討中。

# サポステ支援事例④ 市町村連携

- 各市町村から生活保護世帯、生活困窮、重層事案、ひきこもりなどの方を繋いでもらっている
- 本人了承のうえで、情報共有、支援会議などを実施し支援を行っている
- 街の駅やまなしや大月市役所、葦崎ニコリなどの出張相談も活用して頂いている
- 市役所内の相談室をお借りして、初回面談を行う場合もある

## 事例＜27歳女性＞

市役所保健師からの紹介で繋がった。両親が高齢で夫婦ともに健康を害しており、収入は年金のみのため、今後さらに困窮していくことが予想される。本人は一人娘で高校卒業後、就労経験はない。就職活動を活発にしていた時期はあったが、マッチングしないところを多く応募しており、不採用が続いた。その後、両親の病院の送迎、家事に追われ、段々と動かなくなった。趣味は多く、ゲームのOff会に参加するなど、家族以外の社会との繋がりはある。サブスクの加入が多く月5万以上を遣っている。

サポステに繋がってからはハローワークへ繋ぎなおし、具体的な求人を選び、応募書類添削、証明写真撮影などを行い、応募に繋げ、現在も就活中。

令和7年度  
やまなしサポステ  
連携支援情報交換会

令和7年9月22日（月）13:30～15:00

厚生労働省委託事業 やまなし若者サポートステーション

# ①サポステ 事業内容 および支援に ついて

## 地域若者サポートステーション

地域若者サポートステーション（愛称：「サポステ」）では、働くことに悩みを抱えている15～49歳までの皆さまを対象に、就労に向けた支援を行う機関です。

厚生労働省が委託した全国の若者支援の実績やノウハウがある民間団体などが運営しており、全国の方が利用しやすい「身近に相談できる機関」として、全ての都道府県に設置しています。

（全国179か所）

厚生労働省HPより

## 【利用対象者】

1. 「働きたいけど、どうしたらよいのかわからない」「働きたいけど、自信が持てず一歩を踏み出せない」「働きたいけど、コミュニケーションが苦手です不安」「働きたいけど、人間関係のつまずきで退職後、ブランクが長くなってしまった」など、働くことに悩みを抱えている**15歳から49歳**までの方
  2. 定時制・通信制高校生/大学生および、卒業年次で進路未決定の方は卒業3か月前くらいから利用登録可能。
  3. 雇用保険に加入して週20時間以上の仕事（パート、アルバイト含む）をしていない方
- 上記の1～3のすべてに該当する方がご利用できます。ご利用条件が不明な方は、お気軽にお問い合わせください。

# やまなし サポステの 支援について

①

## 電話予約

- ・ 初回利用相談/  
保護者相談  
（出張も可能）
- ・ 説明会参加

## 利用登録

## 支援開始

支援は無料

面談（1H）・グ  
ループワーク参加  
は予約制

# やまなし サポステの 支援について

## ② 就労準備

### 就労相談・保護者相談／各種支援

- 職業適性診断、その他アセスメントツールを用いた自己分析支援
- コミュニケーションワーク
- ビジネススキルトレーニング
- パソコンスキルアップ
- 企業説明会参加
- 職場見学・体験
- 集中訓練プログラム（合宿付き）
- 職業訓練受講／進学検討

やまなし  
サポステの  
支援について  
③  
就職活動

## 具体的な就職活動

- 求人検討／企業研究
- ハローワーク・企業への同行
- 応募書類作成
- 面接対策
- ビジネスマナー

やまなし  
サポステの  
支援について  
④  
定着支援

## 定着支援支援

- 働き続けるための相談
- 転職相談
- 働いている人たちや現在就活中の方々との交流会